

# トラフィックペイント 塗装工事要領



K P 会

## 執 筆 者 一 覧

### 1. トラフィックペイントの知識

アトム化学塗料株式会社

### 2. 施工上の注意点

杉 本 剛  
(日本ライナー株式会社)

岡 本 千 春  
(株式会社アルファ企業)

### 3. 提出図書の書式及び作成方法

光 吉 延 博  
(宮川興業株式会社)

### 4. 作 図 表

大 島 巖  
(日本道路興業株式会社)

二 木 公 平  
(野原産業株式会社)

### 編 集 責 任 者

高 橋 英 階  
(株式会社アルファ企業)

# 目 次

1. トラフィックペイントの知識 .....	1
(1) トラフィックペイントに必要な機能 .....	1
(2) 取扱い上の注意事項 .....	2
(3) 警視庁用トラフィックペイントの知識 .....	4
2. 施工上の注意点 .....	6
(1) 施 工 前 .....	6
(2) 施 工 中 .....	8
(3) 施 工 後 .....	10
(4) 各種標示例 .....	10
3. 提出書類及び作成方法 .....	15
(1) 提 出 書 類 .....	15
(2) 書類作成上の注意事項 .....	16
4. 作 図 書 .....	19
(1) ペイント塗装施工長換算表 .....	19
(2) 学校車両通行止 .....	20
(3) 自転車ストップマーク A 型 .....	25
(4) 自転車ストップマーク B 型 .....	26
(5) 自転車ストップマーク C 型 .....	27
(6) 歩行者ストップマーク .....	28
(7) マ ル 患 .....	29
(8) 徐 行 .....	30
(9) 止 ま れ .....	31
(10) 速度制限 .....	32
(11) 横断予告標示 .....	34
(12) 指定方向矢印 .....	34
(13) 交差点マーク .....	35
(14) 自転車進入矢印 .....	36
(15) 自転車シンボルマーク .....	37
5. K P 会会員名簿 .....	39

## 1. トラフィックペイントの知識

### (1) トラフィックペイントに必要な機能

区画線及び道路標示の役目は、車両の通行区分を明確にし、また、交通法規の遵守を助けることにより、車や人の交通の流れをよくして、交通事故の防止・減少をはかることにある。そして同時に、都市や道路の景観を一層美しくすることにもなっている。

従つて、道路の区画線や標示に使われる塗料—トラフィックペイント—に求められる機能と条件は、次のようなものである。

- 1) 車の運転時に、昼夜とも、光及び色の反射により識別・視認が充分にできること。
- 2) 路面によく密着し、車や歩行者の通行によつて短期間にはがれたり、摩耗が著しかつたりしないこと。
- 3) 経時によつて、割れや汚れ、変色が著しかつたり、光の再帰反射性が急速に低下したりしないこと。
- 4) 車両、歩行者の通行に危険性を伴わないこと(スリップや段差、つまづきの原因にならないこと)。
- 5) 速乾性で、塗装作業中に交通の支障が極めて少ないこと。また、塗装作業が容易で、安全なこと。
- 6) 施工費が経済的になるような、比較的安価な材料単価であること。

## ( 2 ) 取扱い上の注意事項

### 2-1 危険物の種類及び指定数量の関係

表 5-1 消防法による塗料及びシンナーの分類

危険物の種類	トライフックペイント 1種・2種	プライマー・シンナー	
	第4類 第3石油類	第4類 第2石油類	第4類 第1石油類
指定数量	2,000ℓ	500ℓ	100ℓ

- 1) 上記指定数量以上の危険物は貯蔵所以外の場所で貯蔵し、または製造所、貯蔵所及び取扱所以外の場所でこれを取扱ってはならない。ただし、所轄消防長または消防署長の承認を受けて指定数量以上の危険物を10日以内の期間、仮りに貯蔵し、または取扱う場合はこの限りでない、としている。
- 2) 製造所、貯蔵所、及び取扱所においては、危険物取扱者(免状の交付を受けているもの)以外の者は、甲種または乙種危険物取扱者が立ち合わなければ危険物を取扱ってはならない。
- 3) 指定数量以上の危険物を車両で運搬する場合には、当該車両に標識を掲げること。

### 2-2 一般注意事項

- 1) 火気厳禁である。火気または火花の出るおそれのあるものを近づけてはならない。喫煙、ストーブ、コンロ、溶接、火花の出るおそれのある電気器具類、等。
- 2) 消火器(粉末消火器)を速やかに使用できる位置に備えておくこと。

- 3) 容器は密閉して貯蔵する。
- 4) 気温の上昇しやすい場所での貯蔵は避ける。
- 5) ペイントの長期残庫は避ける。長期残庫は顔料の沈降を来たしやすい。  
使用前には塗料のかきまぜを充分に行う。
- 6) ペイント等の付着したウエス、手袋等は蓋のある金属製容器に入れる  
ようにし、その日のうちに処理しておく。
- 7) オープンドラム入りのものは立てて貯蔵する。
- 8) 貯蔵または取扱う場合は、みだりに転倒させ、落下させ、衝撃を加え、  
または引きずる等粗暴な行為をしないこと。
- 9) 取扱い作業所は換気をよくする。特に室内、工場、倉庫、トンネル内  
等での施工、機器の調整あるいは洗浄作業等を行う場合。
- 10) 取扱い中は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じ有機ガ  
ス用防毒マスク、またはホースマスク、保護手袋を着用する。蒸気を吸  
入すると中毒を起こすおそれがある。
- 11) 容器から出し入れするとき、こぼれないようにする。また、こぼれた  
場合には、砂等を散布した後処理しておく。
- 12) 作業着等に付着した場合は、そのよごれを落しておく。
- 13) 取扱い後は、手洗い及びうがいを充分行うこと。

### ( 3 ) 警視庁用トラフィックペイントの知識

#### 3-1 警視庁用トラフィックペイント

警視庁トラフィックペイントは夜間反射性を有するように、予め反射性ガラスビーズを混入したペイントで、ローラー等により塗装される。

一般のトラフィックペイントは主に塗装機械等により施工され、反射性ガラスビーズをペイント塗装直後に散布し夜間視認性を持たせている。

以上のように、塗装方法のちがい、混入ビーズの有無から警視庁トラフィックペイントは品質において一般のトラフィックペイントとはいくぶん異なつた性状を有するものでなければならない。

#### 3-2 反射性ガラスビーズ

トラフィックペイントに使用されるガラスビーズはJIS-R-3301「トラフィックペイント用ガラスビーズ」において品質が規定されている。

一般のトラフィックペイントにおいて使用されるガラスビーズはJIS-R-3301 1号及び2号であるが、警視庁トラフィックペイントで混入されているガラスビーズは3号に準じる粒径の小さいものが使用されている。

3-3 ペイント要求性状の項目説明

項 目	要 求 性 状	解 説
粘 ち ゆ う 度 (コンシステンシー)	90～120 ku	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗料の粘度を表わす(塗装時の適正粘度) ku値が高すぎる場合は塗装しづらくシンナー希釈が必要。ku値が低すぎる場合は塗装がしやすいが、塗膜厚が少なく隠ぺい性・耐求性に支障を来たす。</li> </ul>
容器の中での状態	かきまぜた時、堅い固まりがなくて一樣になる	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗料の状態(固まり、沈殿の有無) 固まり等がある場合：塗装時支障が有り、塗膜も不良となる。</li> </ul>
不 粘 着 乾 燥 性	塗布7分して試験用ロールを転がし、この時タイヤに塗料が付着しないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗料乾燥時間 乾燥が早すぎる場合：塗装しづらくなる 乾燥が遅すぎる場合：塗装後の車輛等の開放が遅れ、交通渋滞等を引き起こす。</li> </ul>
塗 膜 の 状 態	しわ、むら、われ、粘着性がないこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗膜の状態 具状がある場合：塗膜が不良で所期の性能が得られない。</li> </ul>
45度0度 拡散反射率	80%以上(自己のみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗膜の白さ 数値が高い程白色性が良好。</li> </ul>
隠 ぺ い 率	白色 0.97以上 黄色 0.85以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>下地をおおい隠す力 数値が高い程隠ぺい性がある。</li> </ul>
に じ み	コントラストレシオ 0.85以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>アスファルトを塗料がおかす場合 数値が高い程アスファルトが塗料ににじまず色も無くならない。</li> </ul>
耐 磨 耗 性	100回転について 500mg以下	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗膜の耐久性 数値が低い程塗膜に耐久性がある。</li> </ul>
加 熱 残 分	70%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗料中の塗膜形成分 数値が低い場合：同一量での塗膜厚が少なく耐久性が悪くなる。</li> </ul>
促 進 耐 候 性	60時間の試験後異状がなく変色の程度が著しくない	<ul style="list-style-type: none"> <li>塗膜の長期間での耐候性 程度が著しい場合：塗装後の塗膜に異状を来たす。</li> </ul>



## 2. 施工上の注意点

### (1) 施工前

- 1) 落札した時点で規制課駒形分室及び材料メーカーと連絡を取り、ペイントの引取り日時を確認(材料検査合格後でなくては出荷出来ないの  
注意)
- 2) 作業班の編成、作業車両、代理人、工事事務係等の手配
- 3) 各署担当者と連絡を取り、工程を組む
- 4) 落札後、本部への工程表等の提出はすみやかに行なう事
- 5) 作業班の休日、車両故障、天候等を考慮して、出来る限り充分余裕の  
有る工程を組むようにする事
- 6) 工事車両は、回転灯、消火器を設備し、“ペイント塗装工事中”の標示  
板を車上にセットし、車体に会社名を明記する事
- 7) 工具、保安具の用意  
ローラー(柄、替ローラー)、ペイント積込み台車、ガイドレール、ペ  
イント罐切り器、巻尺、ハンスケール、線出しロープ、黒板、カメラ、  
チョーク、赤白旗、セフテイコーン、サイズ表、図面、筆記用具、文型  
用型枠、カクスキ、ホウキ、ケレン棒、クラフトテープ、ウエス、都内  
地図、警笛、作業版、ヘルメット、軍手、作業靴、急救箱一組
- 8) 材 料  
メーカーより、材料引き取り後の保管は、危険物であることを認識して  
保管場所に注意し、部外者が持ち出せない様に設備された所に保管する  
事

長期間の保管後に使用の場合は、中をかくはんして使用する様、又、ペイントは開罐後約半日程度で含有シンナーが体気中に放散して固くなるので、不必要に開罐せず翌日に持越す事のない様にする事（シンナーは混入用でない）

又、空罐の処分には特別の配慮をし、一般ゴミとちがい可燃性のペイントが罐に付着しているので処分方法に注意する事

#### 9) ト ラ ブ ル

現場に出動途中での降雨、車両事故、交通渋滞等の為施工可、不可、到着時間等、問題発生の場合は署、会社担当と密に連絡を取り指示を受ける事、又施工中に事故トラブルが発生した場合は、被害者救護をし、会社、署に連絡し、指示を受ける事

#### 10) 作 業 中 の 保 安

作業車両の駐車位置は、住民、歩行者、車両等の通行の妨げにならない場所を選び、セフティコーン等で車両を囲み、駐車理由を明示して置く事

施工現場においては、ペイント等が他に付着しない様に保安具（セフティコーン、バリケード等）を配置し、事故防止に万全を期す様配慮する事

#### 11) 本 部 、 署 と の 連 絡

受注した各署の設計数量は遵守する事

設計メーター数の内、線、文字記号等の内容を細部に渡り打合せをし、白、黄の配分、提出工程表のスケジュール（日数）内でのメーター数消化に努力する事

ペイントの伸率は、白、黄、共 330 m/罐 が基準であるが、型枠使用、

新設、既設上の補修等で伸率が一定せず、しかるに毎日施工数量と罐使用量、残罐数等をつかみ材料不足が起らない様に調整に努める事  
次の署に移る場合は、数日前に連絡を取り着工する様にする事  
本部より会社へ工事進行状況の問合せに即答出来る様に毎日社内出来高表を作成する事（署別、当日数量、当日合計数量、当日迄の累計数量、完成 %）

本部連絡先

交通規制課 規制第一係

TEL 03(581)4321 内線3279

駒形分室連絡先

交通規制課 規制第一係 駒形分室

TEL 03(581)4321 内線3288

## (2) 施 工 中

### 1) 会社出発時

- ① 会社専用のユニフォームを着用（ボタンの取れ、汚れ等のない服装である事）
- ② ヘルメット着用時は必ずあご紐をしめる事（会社名を明記）
- ③ 作業靴はかかとをふまない事
- ④ 班長は責任者の腕章を着用する事
- ⑤ 車両、工具、材料の始業点検
- ⑥ 当日の施工内容の説明
- ⑦ 安全運転、安全作業のミーティング

施工班は、毎朝8：30～9：00の間に署に寄るか、署に連絡し、当日の指示打合せ後施工開始する。又工事終了後は、署と連絡を取り終了報告、翌日の打合せをして帰社につく事  
署担当者の指示で規制標示以外、又は特殊サイズの要望、設計数量の変更等があつた場合は、本部の許可を受けて施工すること

## 2) 施 工 中

- ① 施工班は、当日の工事分を検算、図面清書し、完成させ正確な数量を出す事、工程係は出来高表を作成する事
- ② 作業中は、くわえタバコの厳禁
- ③ 作業中のペイント罐、工具等の積込み台車の配置は、諸車の通行等の迷惑にならないよう、又、ペイント罐等を破損させ路面を汚さないように注意し、工具、空罐等を現場に長時間放置したり置き忘れないようにする
- ④ 施工数量の計算において、少数第2位は切り捨てる事（横断歩道の縞  $3.65 \times 12$  本は、縞  $3.6 \times 12$  本とする）  
標示位置の移設等で、はみだし部分や、不必要な標示があれば黒ペイントで消す事 その黒ペイントの数量は、線、文字記号共に線標示にて記入する事
- ⑤ 溶着の塗装の上には耐久性が無いので塗装しない事
- ⑥ 駐車、駐停禁の塗装は特に木草、芝等にペイントを塗らないように注意し、既設の塗膜の固着状態が不安定な場合は、出来る限りケレン等で取り除き塗布する事
- ⑦ 写真撮影は同アングルにて、前、中、後を写す事、出来れば全景が入るように努める事  
工事写真は各署毎に、施工前、中、後を各種（線、記号、型枠記号）撮影、提出する事

⑧ 黒板の記入例は下記の通りとする

工 事 件 名	トラフィックペイント道路標示塗装工事
発 注 者	警 視 庁
工 事 場 所	〇〇署 〇〇区〇〇丁目〇〇番〇〇号
工 事 種 別	線標示(もしくは記号、型枠記号)
施 工 状 況	施工前(もしくは中、後)
施 工 者	〇〇〇〇株式会社

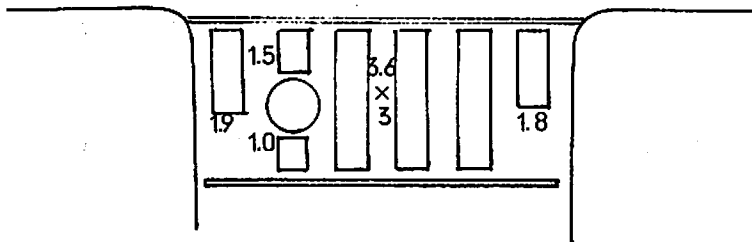
( 3 ) 施 工 後

- ① 工事完了後は署別管内図に工事位置を記入し、社内検査、本部検査等の参考案内図として活用する事
- ② 全署工事完了後は社内検査を全ヶ所正確に行ない、不良ヶ所は発見次第手直し工事等を速やかに行う事

( 4 ) 各 種 標 示 例

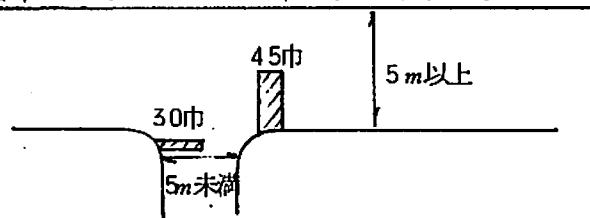
① 横断歩道

- ・設置位置に注意する事
- ・縞の長さが一定でない場合は図上に明示する事



② 停 止 線

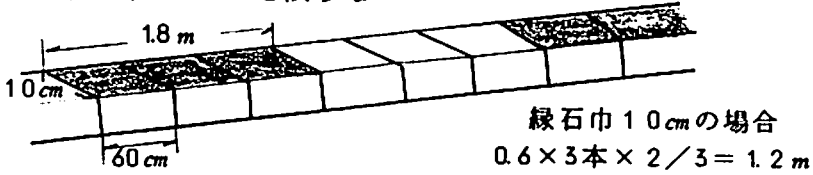
- ・設置位置に注意する事
- ・道路巾により30巾~45巾を使い分ける事



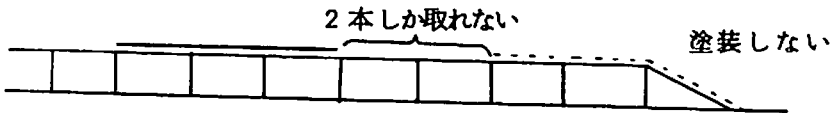
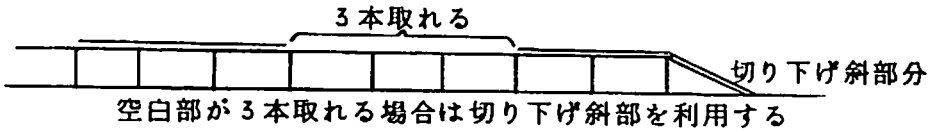
③ 横断予告標示

横断歩道より30mとそれから20mの位置が原則であるが交差点及びカーブの状況に応じてずらす事

- ・緑石の巾は15cmと限らない



- ・切り下げ部分で塗装可の場合と不可の場合がある



空白部が2本しか取れない場合は切り下げ斜部を利用して塗装しない

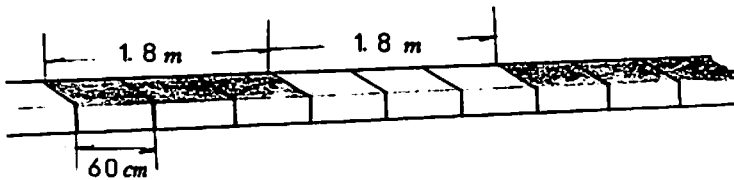
④ 路 側 帯

道路管理者の側線との違いに注意

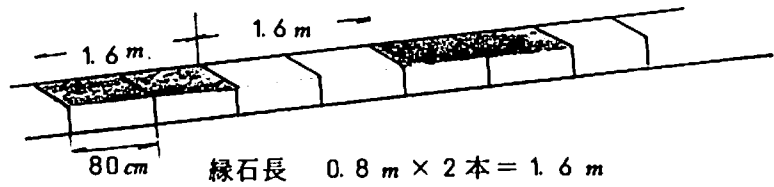
- (外側線) : 道路の巾員を標示する為(管理者)
- (路側帯) : 歩行者と車道とを区別する為(警察)

⑤ 駐車禁止線

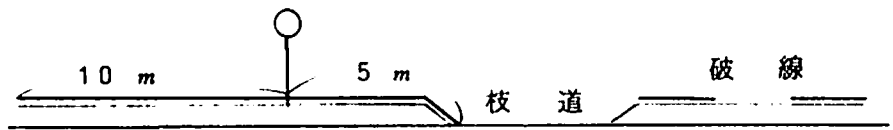
緑石1個の長さは一定でないので特に注意



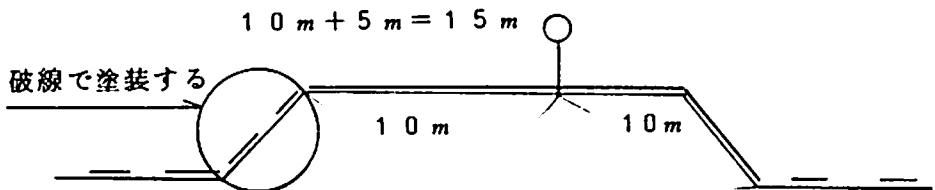
緑石長  $0.6 \text{ m} \times 3 \text{本} = 1.8 \text{ m}$



バス停の塗装は案内板ポールより前後10 m以内で合計20 mまで



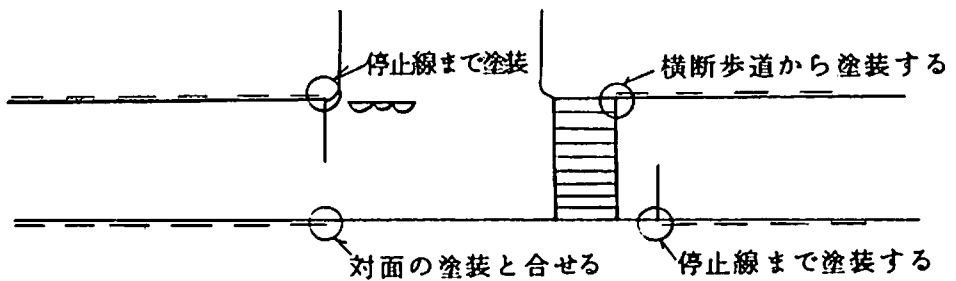
枝道等で緑石が切れる場合



バス停アクセスの場合でも

$$10 m + 10 m = 20 m$$

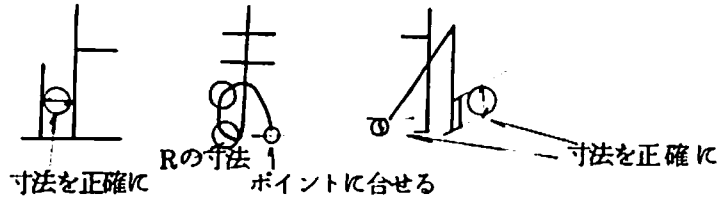
- ⑥ 消火栓設置位置は破線で塗装する
- ⑦ 一方通行路の右側は塗装せず左側のみ塗装する
- ⑧ 交差点内は塗装しない



- ⑨ 駐停車禁止線の場合、目標物を始点、終点に記入する事
- ⑩ はみ出し禁止線(黄)は、かならず15 cm巾で施工する

⑪ 止 ま れ

停止線より原則として1 mの空きとし、又、各文字間も同じ空きとする  
特に下図に注意



既設の補修でカバーの場合は必ずサイズを確認する事  
はみ出し部分は黒ペイントにて消す事

⑫ 学校車両通行止 ○○～○○

標識に順ずる時間を標示する事  
型枠のつなぎ空白部分を塗る事  
道路巾員により文字の配置に注意する事

⑬ 速度制限

20、30、40高中、50高中  
(40、50の場合は必ず高中をつけて標示する事)

⑭ 型 枠

ストップマーク A、B、Cの3種のサイズより現場に最適なものを  
塗装する事  
塗装位置に注意

シンボルマーク 塗装位置に注意

足型マーク 塗装位置に注意

塗装位置例別添

⑮ 矢 印

規定サイズのみ施工  
拡大サイズは不可

⑯ 転 回 禁 止

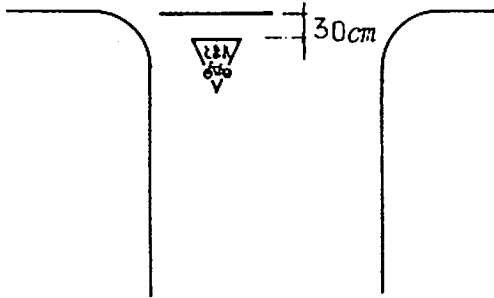
⑰ 自 転 車 導 入 線

⑱ 導 流 帯

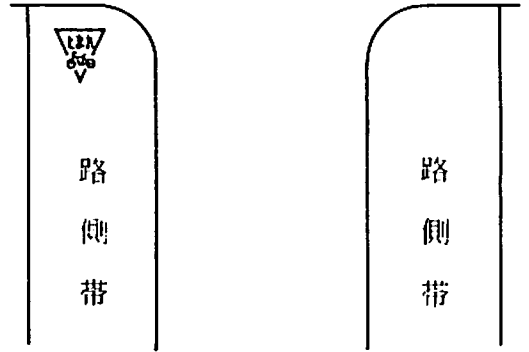


自転車ストップ・マーク表示場所

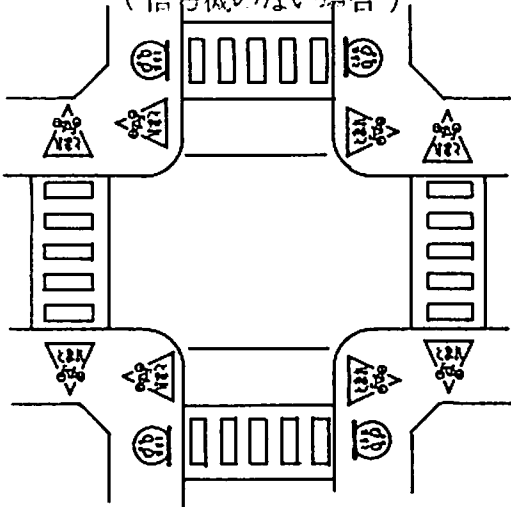
歩車道の区別のない場合



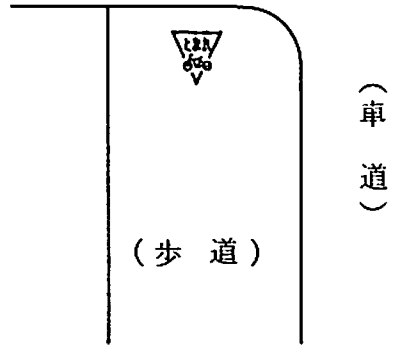
路側帯のある場合



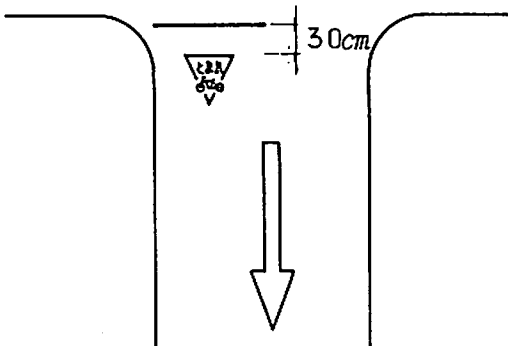
歩車道の区別があり、横断歩道がある場合  
(信号機のない場合)



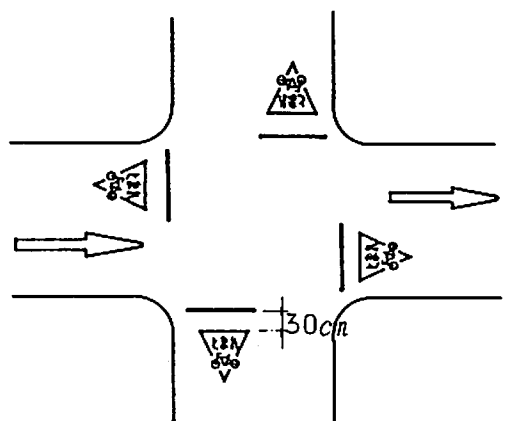
自転車歩道通行可で道路標示のない場合



一方通行路入口



歩車道の区別のない交差点付近



### 3. 提出書類及び作成方法

昭和57年4月1日  
警 視 庁

#### 道路標示関係工事の取扱いについて

##### (1) 提出書類

###### 1) じゅん守事項

契約書、仕様書、建設業法、道路交通法、その他の関係諸法令及び当庁の指示事項を作業員に周知させ作業の円滑な進ちよくを図る事。

###### 2) 工事施工の適正化

あらかじめ提出し承認を受けた工程表(予定)により施工管理を行い、定められた諸事項は確実に記録しいつでも報告できるようにしておく事。

###### 3) 安全管理

① 道路上の施工であるから、交通及び保安上の予防措置を講じ、交通整理員をおくなど、身体及び財産に関する危害等、事故防止及び交通渋滞がないよう努力する事。特に溶着式標示の施工に当つては、危険な作業であるから安全について注意する事。

② 溶着の消去に当り、ふんじん等の拡散防止及び施工後の清掃に留意すること。

###### 4) 提出書類

工事着手届	3部
工事工程表	6部(予定3、実施3)
現場代理人 主任技術者 届	3部
工事完了届 (塗装内訳添付、割印)	3部

工 事 日 報	1 部
塗 装 工 事 明 細 書	1 部
施 工 図 面	1 部
材 料 総 括 表 ( ペイント塗装のみ )	2 部
施 工 写 真	1 部
請 求 書	2 部

## ( 2 ) 書類作成上の注意事項

- 1 ) 工事日報、塗装工事明細書、施工図面、施工写真はそれぞれ綴り、表裏に厚紙を付け、次の表示をしておく事。
 

件名、施工場所、契約年月日、工期、契約番号  
施工数量(概数)、会社名
- 2 ) 工事指示書は施工図面の一番上に綴じて提出する事。
- 3 ) 材料総括表は工事日報の一番上に綴じて提出する事。
- 4 ) 施工図面記載方法(別紙添付)
- 5 ) 作業日誌は実施した署のみ記入する事。累計欄はその日に実施した署の累計のみを記入する事。計の累計欄は前日の累計に当日の実施数を加えたものである事。
- 6 ) 工事工程表は予定のみ記入したものと、予定と実施を記入したものを各3部提出する事。予定のものは1部交通規制課、1部駒形分室に提出すること。
  - ① 着手及び完了年月日
    - (ア) 着手日は材料準備、署連絡の初めの日とする(着手届日)
    - (イ) 完了日は点検終了予定日とする(完了届日)
  - ② 予定、実施の記入要領
 

材料準備、警察署打ち合せ及び点検その他は、下段の点検その他の欄に予定(青)実施(赤)で記入する事。数量計欄は、各署の工事(施工)の予定と実施を記入する事。
- 7 ) 各種届は必ず年月日を記入する事。







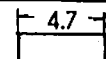





施工月日	7 月 4 日		図示番号	第 6 号	
交差点又は通称道路名		塗装場所	町 3-5	積 算 欄	
				文 字 (止) 止まれ $20.4 \times 4 = 81.6$ (20) 速度 20K $20.3 \times 2 = 40.6$ (30) 速度 30K $21.2 \times 4 = 84.8$ 停止線 $(15+2.0+2.5+2.8) \times 3 = 26.4$ (学) スクールゾーン $8-9 \quad 30.7 \times 2 = 61.4$ ○ 歩行者ストップマーク $1.0 \times 8 = 8.0$ ▽ 自転車ストップマーク(C) $1.2 \times 8 = 9.6$ 導入線矢印 $2.6 \times 2 = 5.2$ ● シンボルマーク $2.4 \times 2 = 4.8$ 導入線 $10.0 + 9.8 = 19.8$ (患) 7.0	
				線標示 4 6.2 m    記号標示 2 8 0.6 m    型枠記号 2 2.4 m    合計 3 4 9.2 m	

施工月日	7 月 4 日		図示番号	第 号
交差点又は 通称道路名	〇〇 通り	塗装場所	〇〇 町 1-1	積 算 欄
<p>A 商店 〇〇 町 1-1 1.8×10    20.0    1.8×15    17.0    1.8×25</p> <p>B 商会 1-2</p> <hr/> <p>1.8×7    18.0    1.8×23    20.0    1.8×30</p> <p>〇〇 町 1-3 ×× 方</p> <p>1-4 C スタント</p> <p>D 銀行 〇△ 町 2-1 1.8×5    20.0    1.8×20</p> <p>E 商店 2-2    1.8×48</p> <p>F 本店 2-3</p> <hr/> <p>1.8×10    20.0    1.8×58</p> <p>2-4    2-5 G 商会    I 会社</p> <p>注 意</p> <p>① 署名、班長名、塗装場所を表示する事。</p> <p>② 必ず目標物、住所を記入し、明瞭に判り易く必要事項は細かく書く事。</p> <p>③ ストップマーク等の型枠記号については 100 個以内に集計する事。</p>				<p>駐 禁</p> <p>① <math>1.8 \times (10 + 15 + 25) = 90.0</math> <math>1.8 \times (7 + 23 + 30) = 108.0</math></p> <p>② <math>1.8 \times (5 + 20 + 48) = 131.4</math> <math>1.8 \times (10 + 58) = 122.4</math> (451.8)</p> <p>バス停 (駐停禁)</p> <p>① <math>20.0 + 17.0 = 37.0</math> <math>18.0 + 20.0 = 38.0</math></p> <p>② 20.0 20.0 (115.0)</p>
線標示	5 6 6.8 m	記号標示		消去
				合 計
				5 6 6.8 m

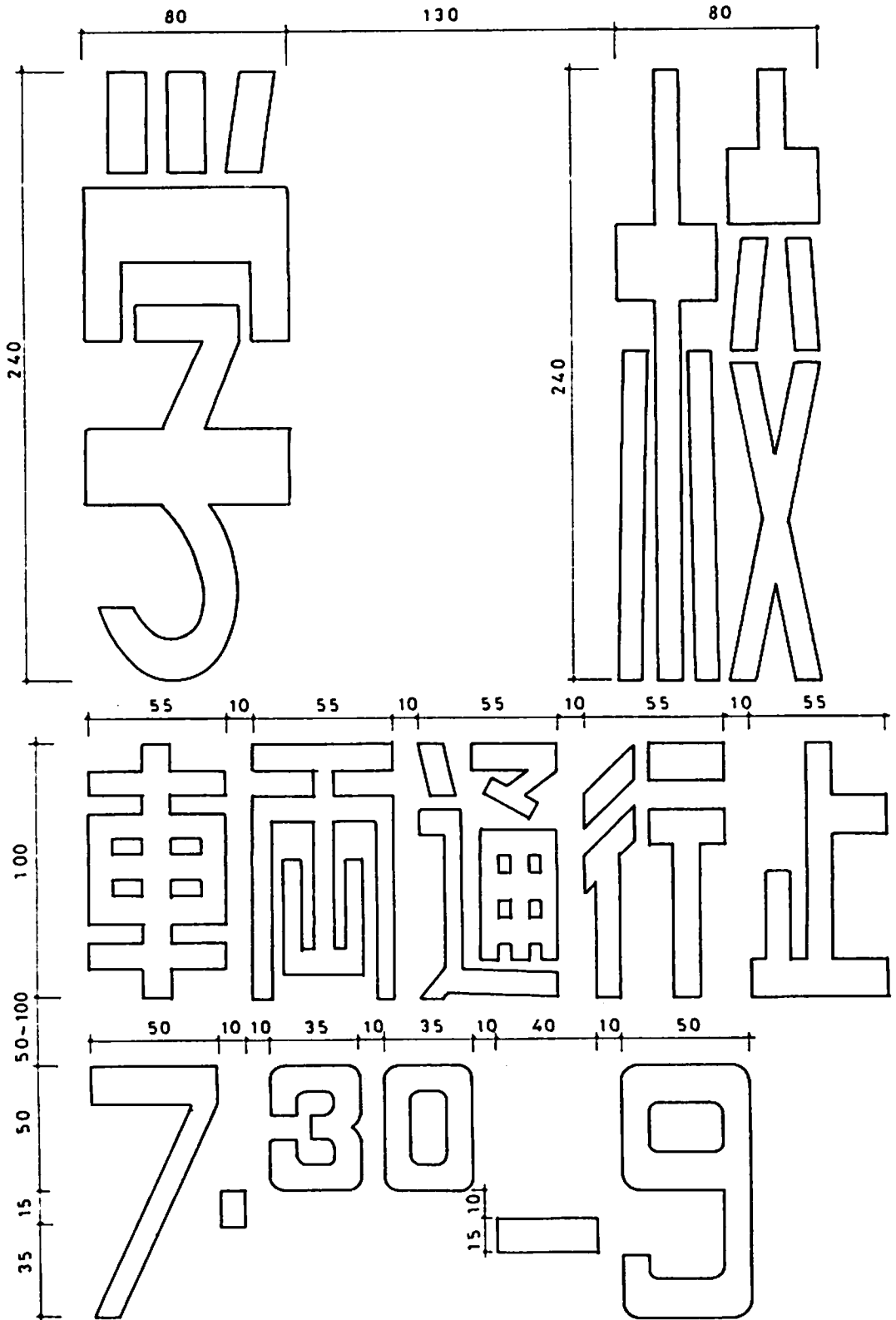
4. 作 図 表

(1) ペイント塗装施工長換算表

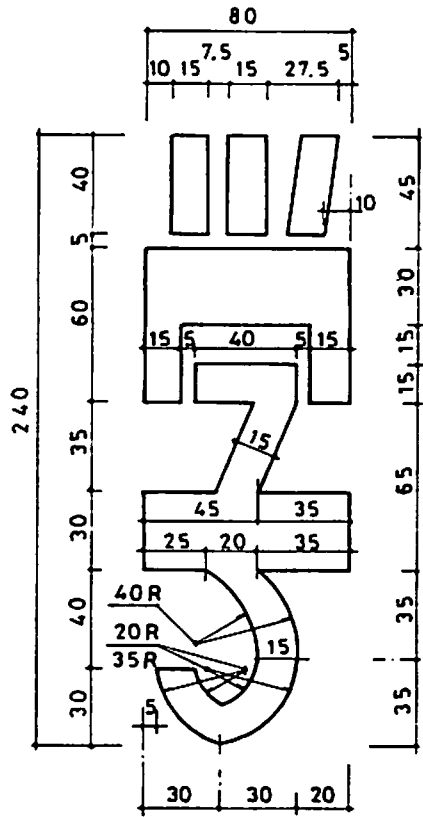
昭和56年7月1日  
交 通 規 制 課

種 別	施工長	備 考	種 別	施工長	備 考	
20	20.30		スク ー ル ・ ノ ー ン	両	10.70 車両通行止 の統計	
30	21.20			通		
40 高中	49.40			行		
	6.80			止		
	7.30			1	時間 数 字 時間点  40 (0.40m)	
	9.80			2		
	18.10			3		
止まれ	20.40			4		
文徐行	21.00			5		
 1.5	7.00	線の幅は 10cm		6		
	8.40	線の幅は 15cm	7			
 自 転 車	A 型	2.40	1.2m 幅	8		。9は 6に同じ
	B	1.90	1.0m 幅	0		
	C	1.20	0.8m 幅	1		
自転車 導入線矢印  2.0m	2.60	側線は 線標示	2	分 数 字 分 点  15 10 (0.10m)		
 自転車 1.53 しんしや文 字 0.74	2.40		3			
	1.00		4			
ス ク ー ル ・ ノ ー ン	学	7.50	15.10		5	
	校	7.60			0	
	車	2.50		0		
その他線は、実数で計上することとする。						

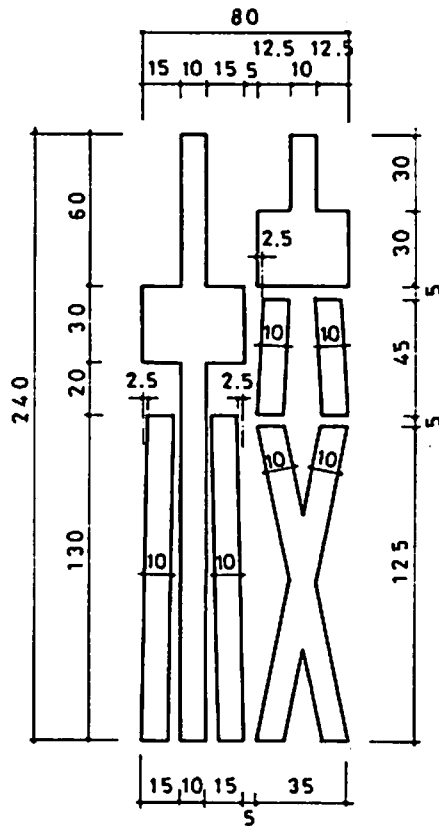
(2) 学校車両通行止 (スクールゾーン) 標示要領



註 文字・数字の間隔は例示で、道路幅員等により変更する場合がある。

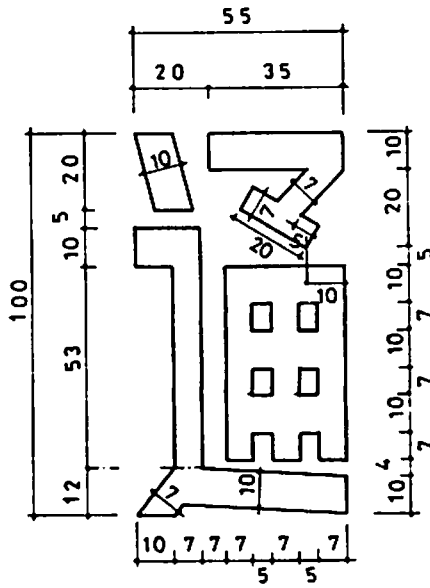
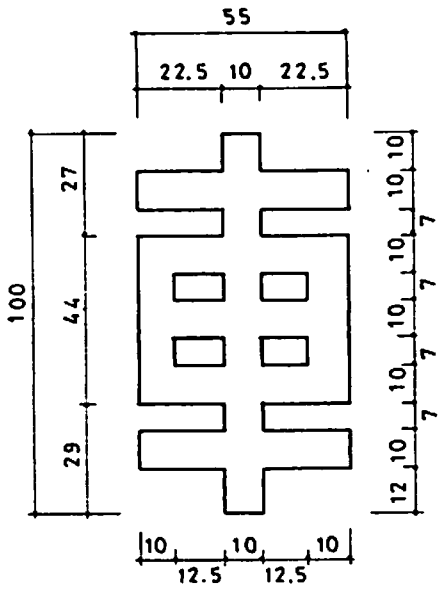


$S = 10,281,961$   
 $L_{15} = 6,85$   
 $PL = 7,50$

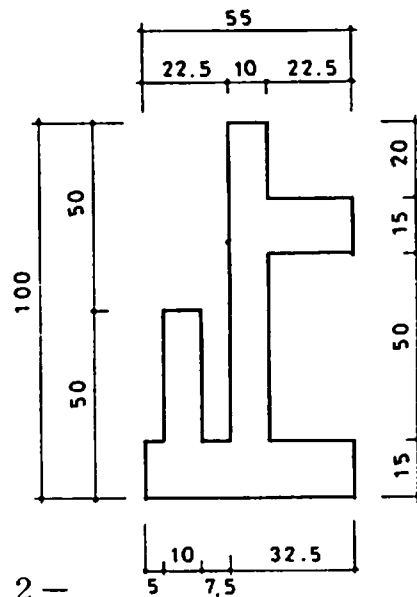
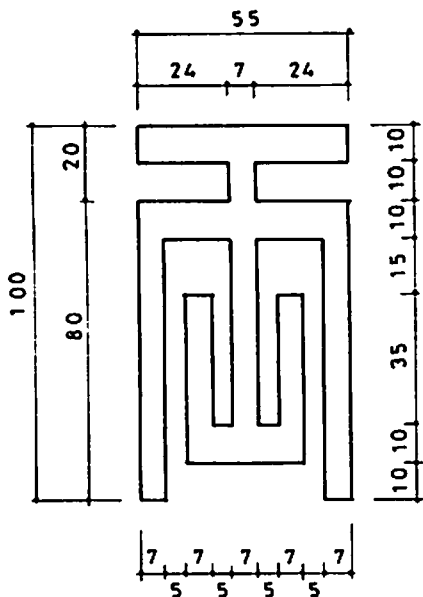
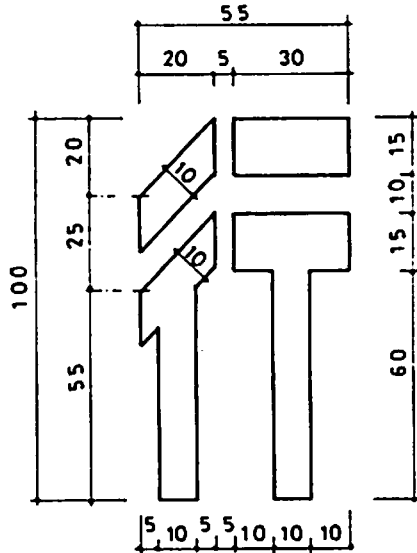


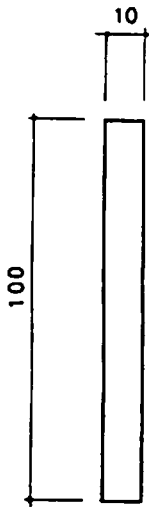
$S = 10,439,292$   
 $L_{15} = 6,95$   
 $PL = 7,60$



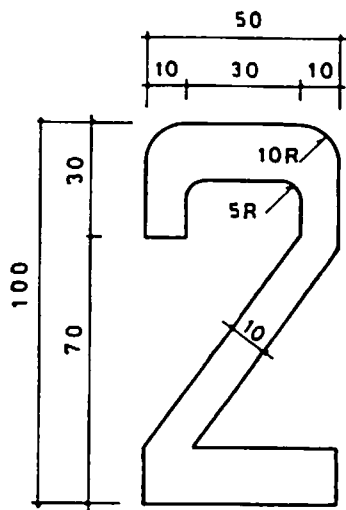


車	S = 3,530.00 L15 = 2.35 PL = 2.50
両	S = 3,300.00 L15 = 2.20 PL = 2.40
通	S = 3,203.318 L15 = 2.13 PL = 2.30
行	S = 2,584.00 L15 = 1.72 PL = 1.80
止	S = 2,362.50 L15 = 1.57 PL = 1.70

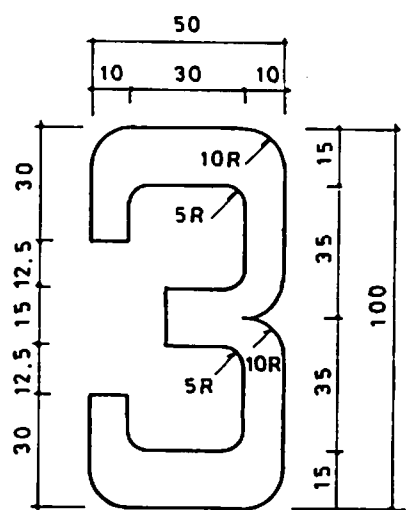




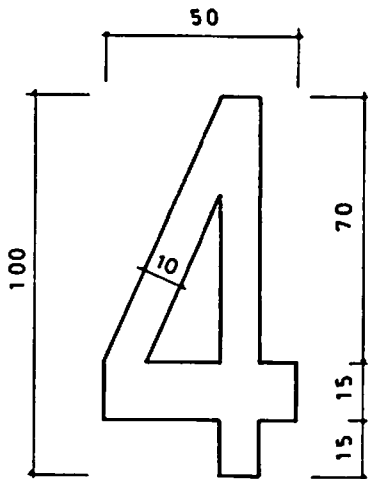
S = 1,000.0  
L15 = 0.66  
PL = 0.70



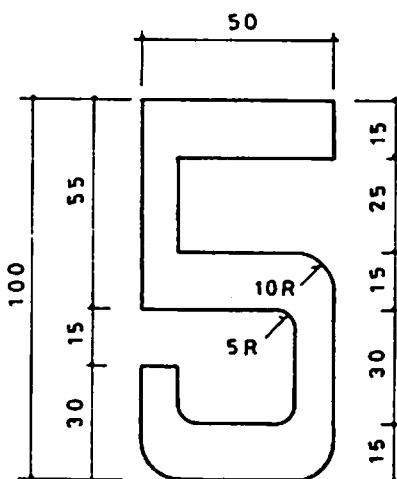
S = 2,432.41  
L15 = 1.62  
PL = 1.70



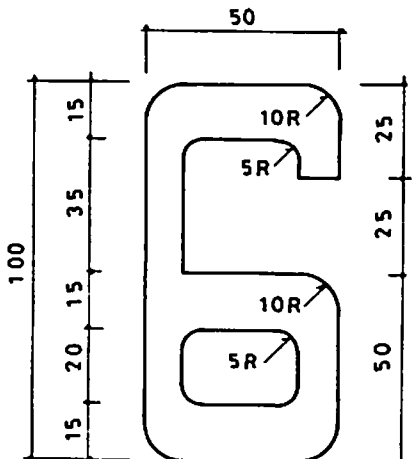
S = 2,703.25  
L15 = 1.80  
PL = 1.90



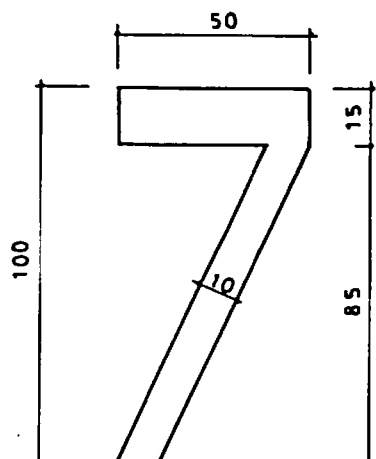
S = 2,223.48  
L15 = 1.48  
PL = 1.60



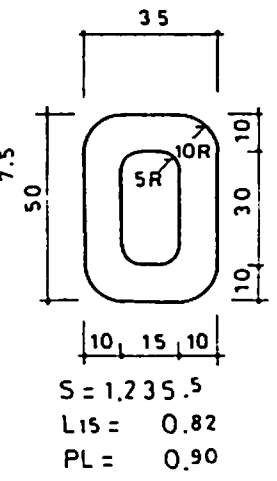
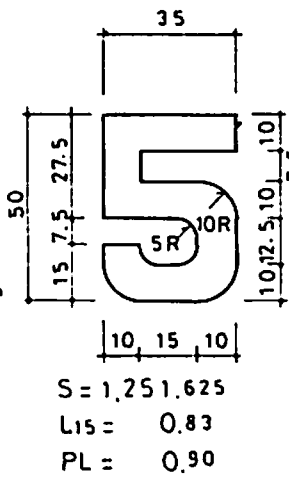
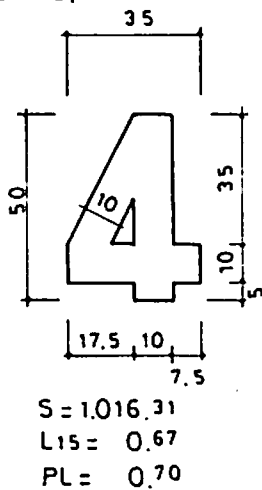
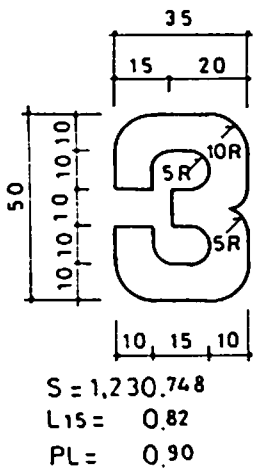
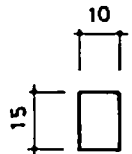
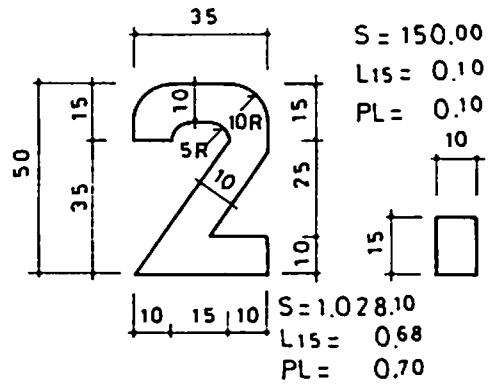
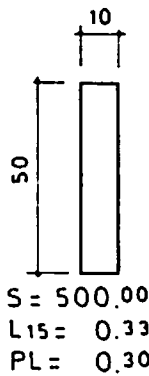
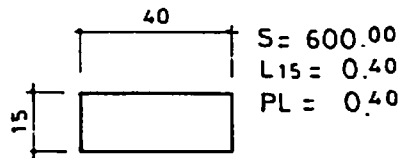
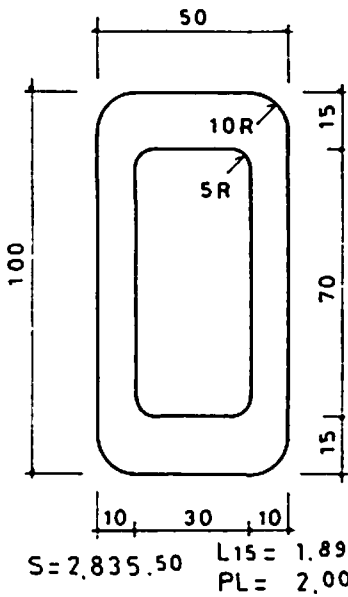
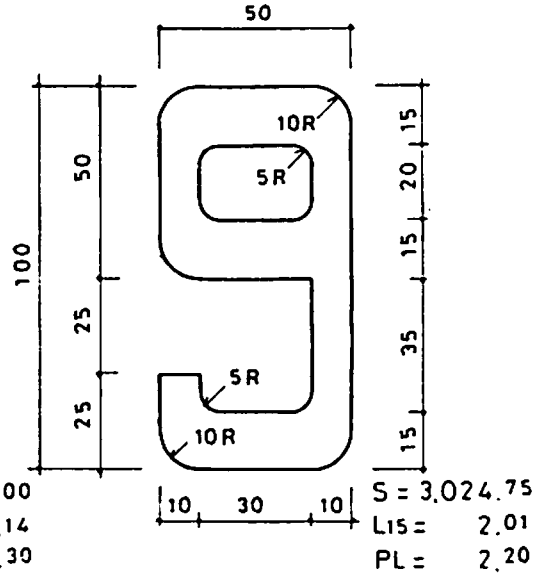
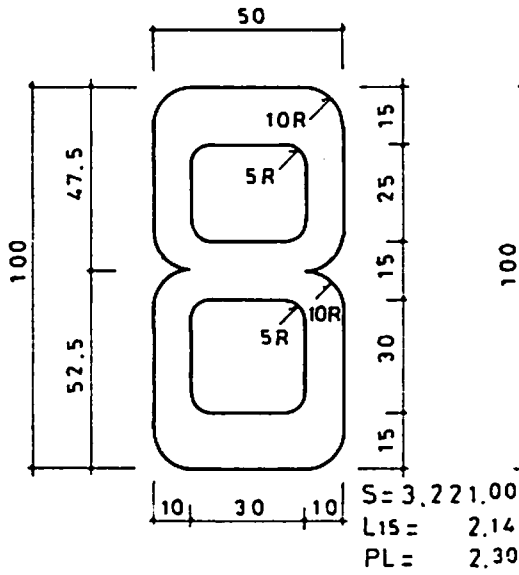
S = 2,901.625  
L15 = 1.93  
PL = 2.10



S = 3,024.75  
L15 = 2.01  
PL = 2.20



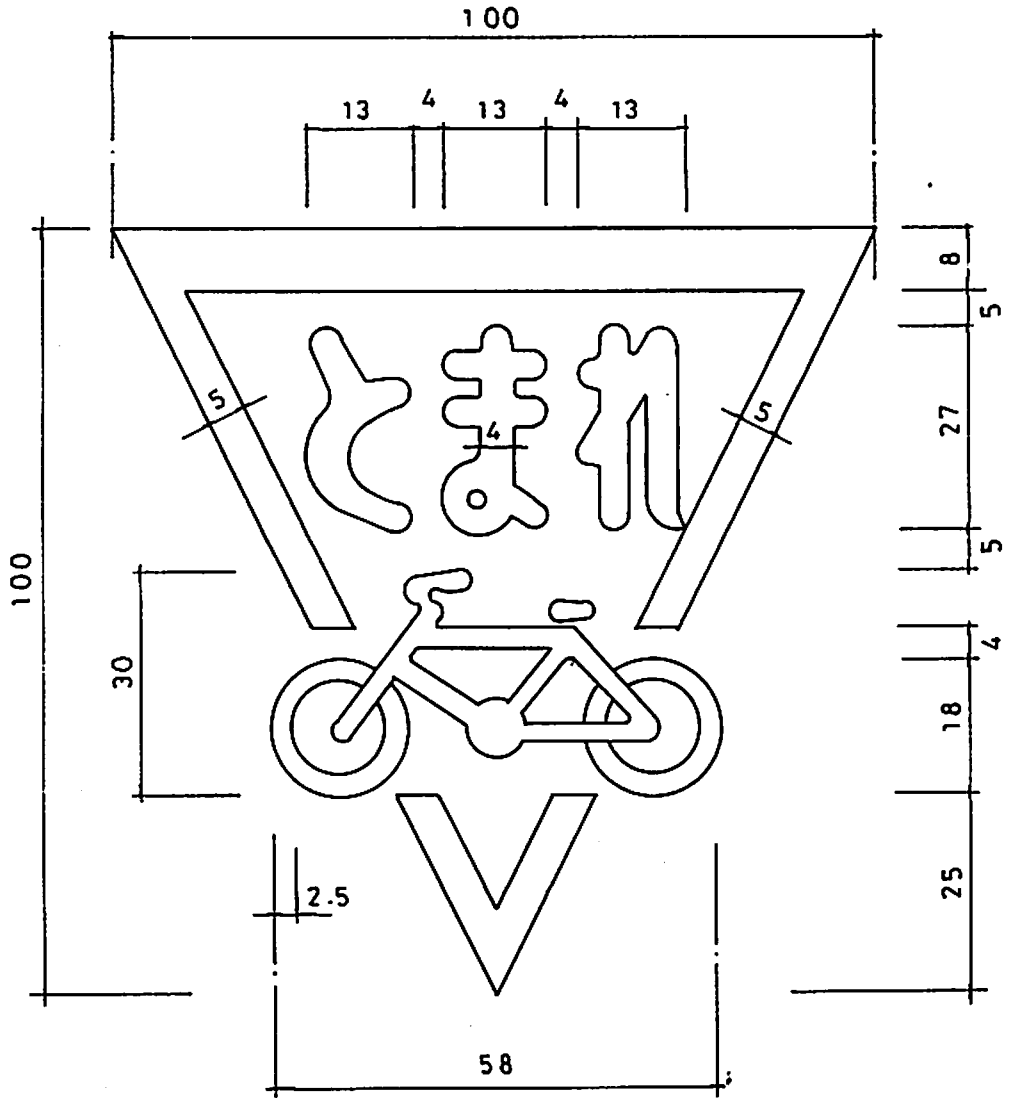
S = 1,682.00  
L15 = 1.12  
PL = 1.20





(4) 自転車ストップマーク

B 型 (幅 1.0メートルの場合)



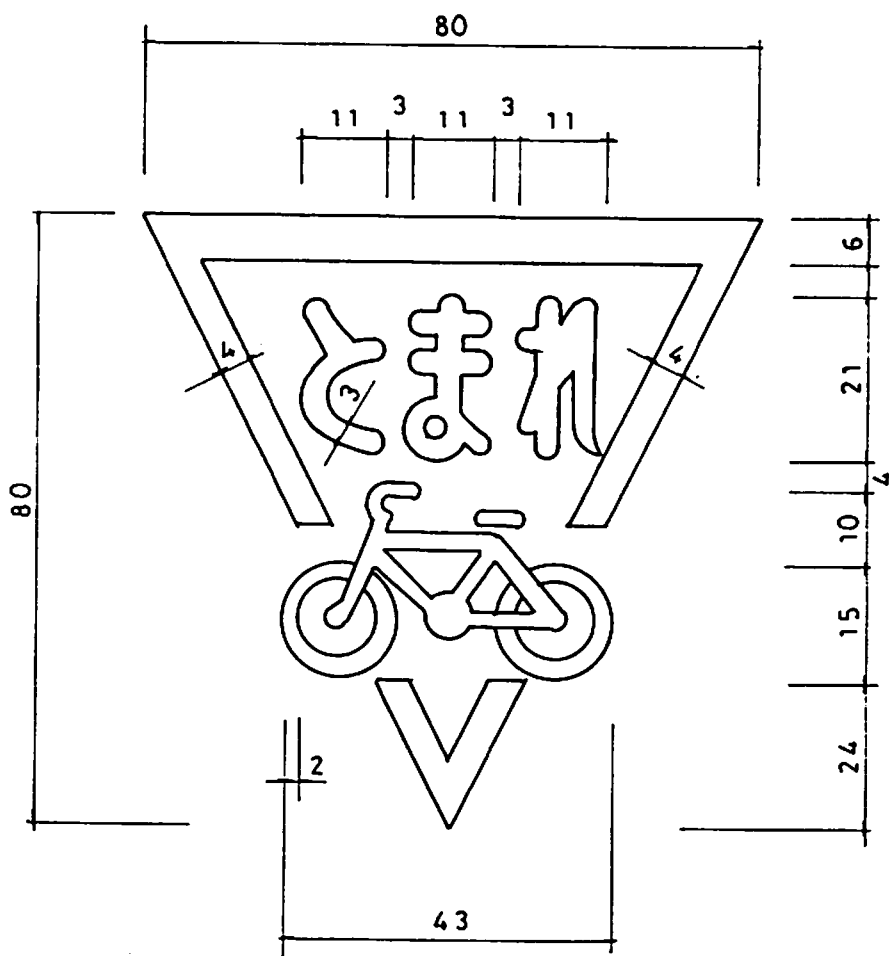
S = 2,641.57

L15 = 1.76

PL = 1.90

(5) 自転車ストップマーク

C 型 (幅 0.8メートルの場合)

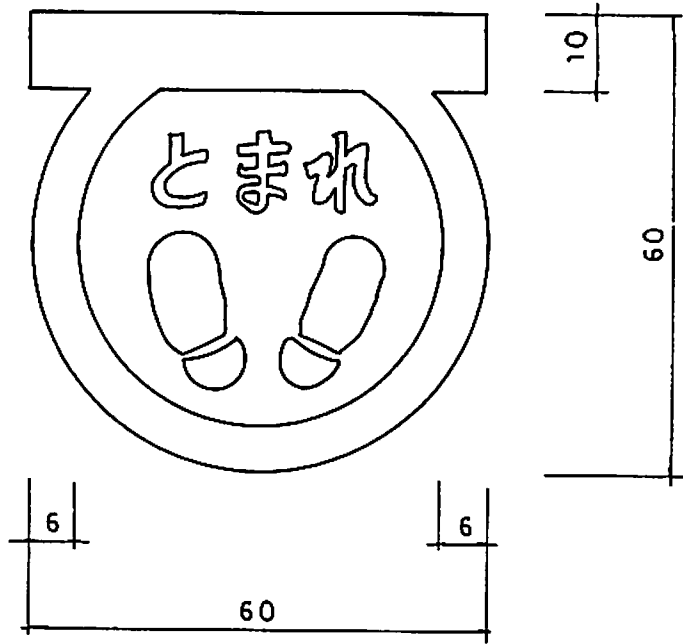


S = 1,636.035

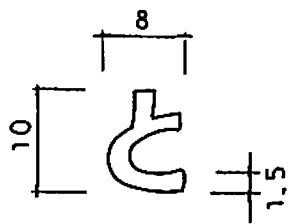
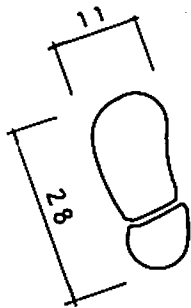
L15 = 1.09

PL = 1.20

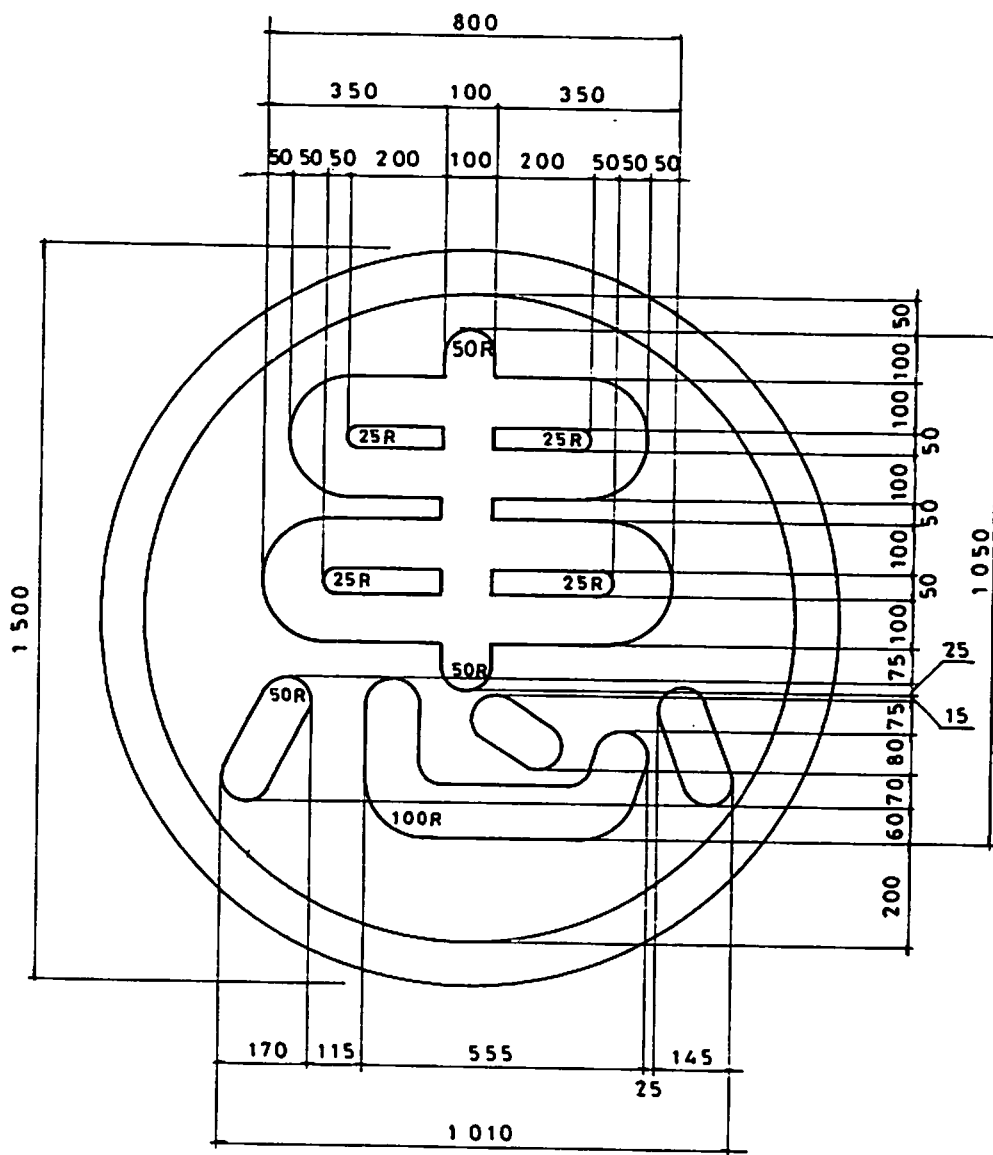
(6) 歩行者 ストップ・マーク



PL = 1.0



(7) マル患



L 15 = 6.4

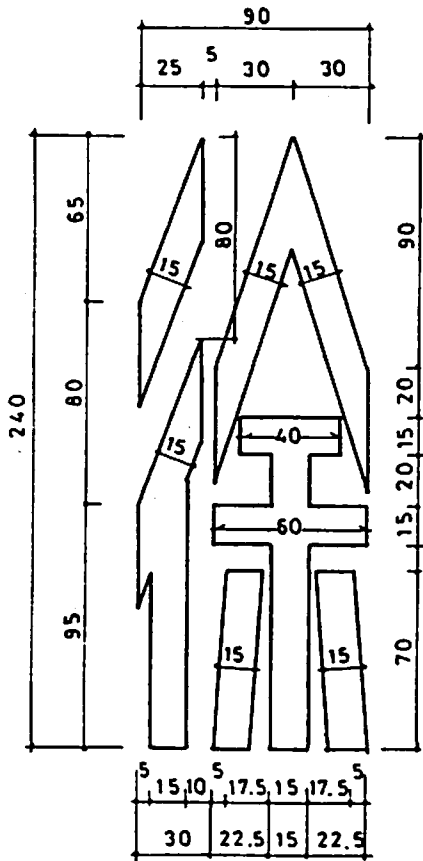
PL = 7.0

参考エリア 8.4 m = 4.7 +

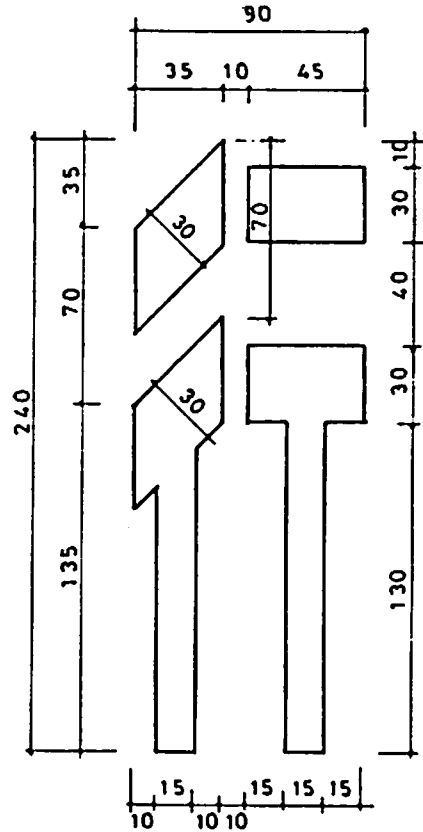
(1.85 × 2)



(8) 徐 行

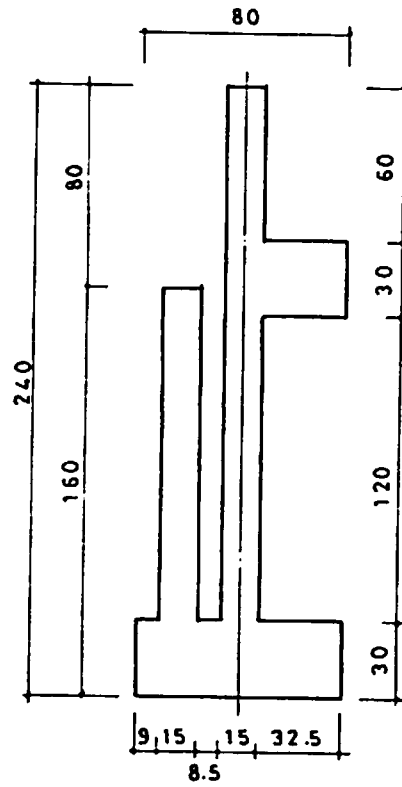


S = 11,329.50  
 L15 = 7.55  
 PL = 8.30

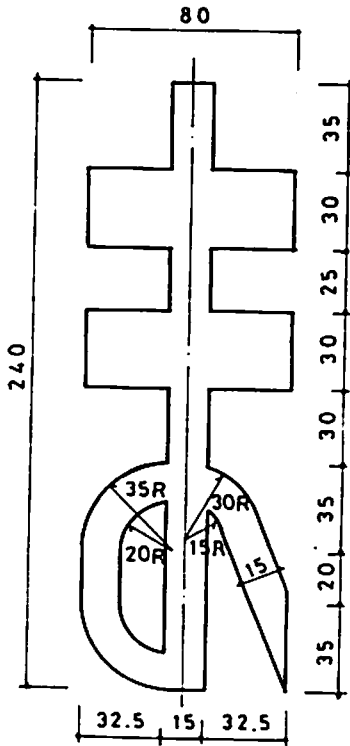


S = 9,269.50  
 L15 = 6.17  
 PL = 6.70

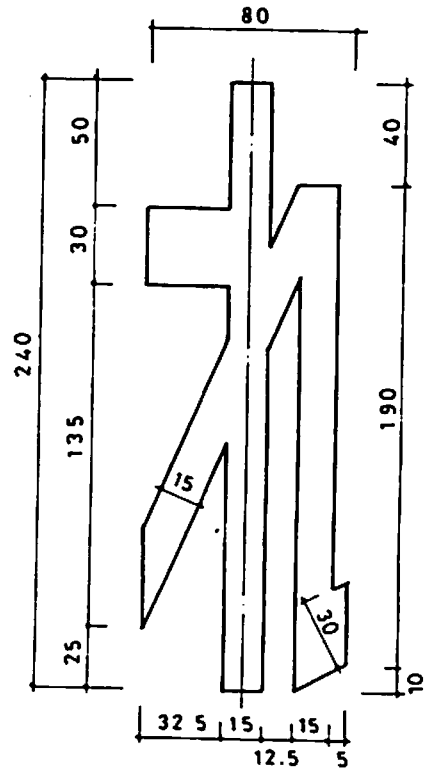
(9) 止まね



S = 8.475  
 L15 = 5.65  
 PL = 6.20

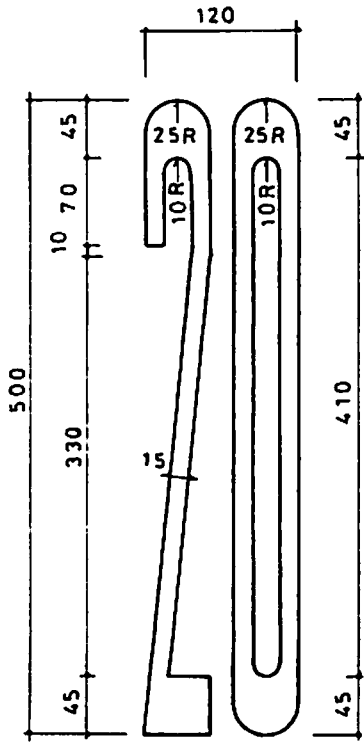


S = 10.095.515  
 L15 = 6.73  
 PL = 7.40

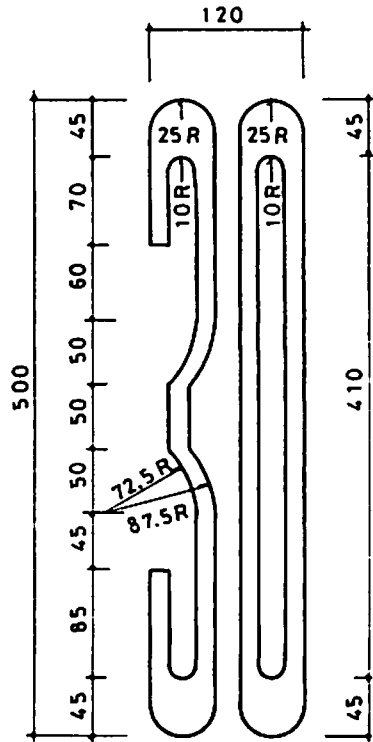


S = 9.399.90  
 L15 = 6.26  
 PL = 6.80

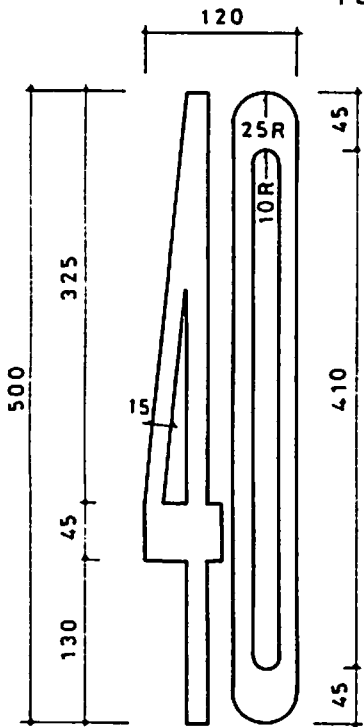
(10) 速度制限



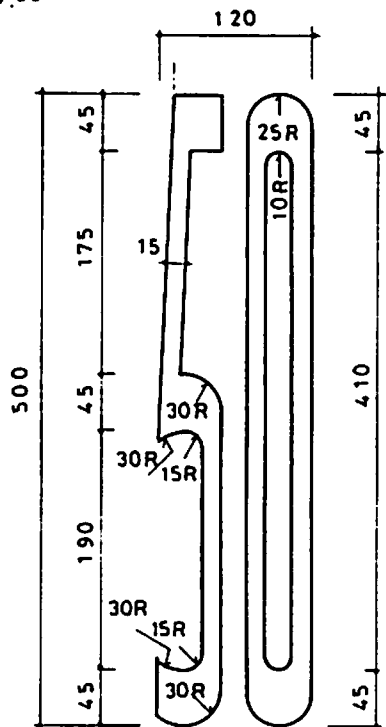
20 20 20  
15 15 15 15  
S = 27.749.81  
L15 = 18.49  
PL = 20.30



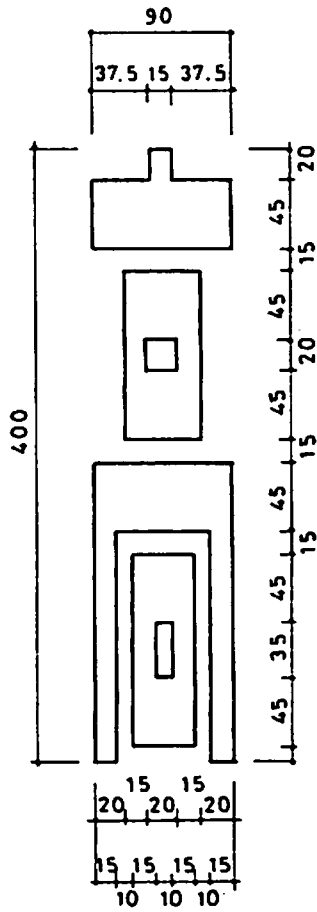
20 20 20  
15 15 15 15  
S = 29.014.60  
L15 = 19.34  
PL = 21.20



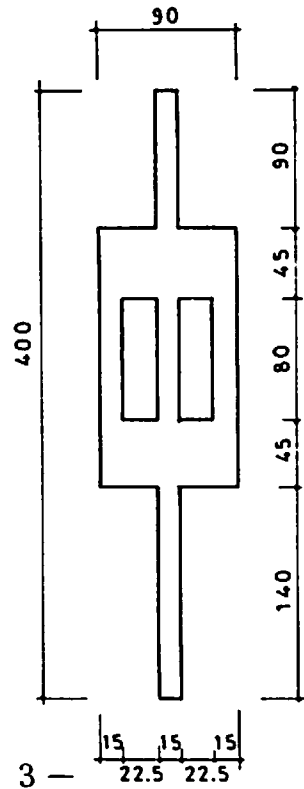
35 15 10 20  
10 15 15  
S = 29.711.00  
L15 = 19.80  
PL = 21.70



25 20 20  
10 15 15 15  
S = 27.863.94  
L15 = 18.57  
PL = 20.40

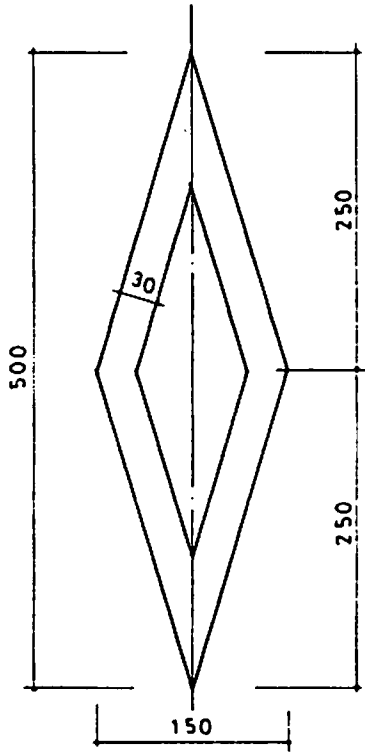


S = 22.650,00  
L<sub>15</sub> = 15,10  
PL = 16,60



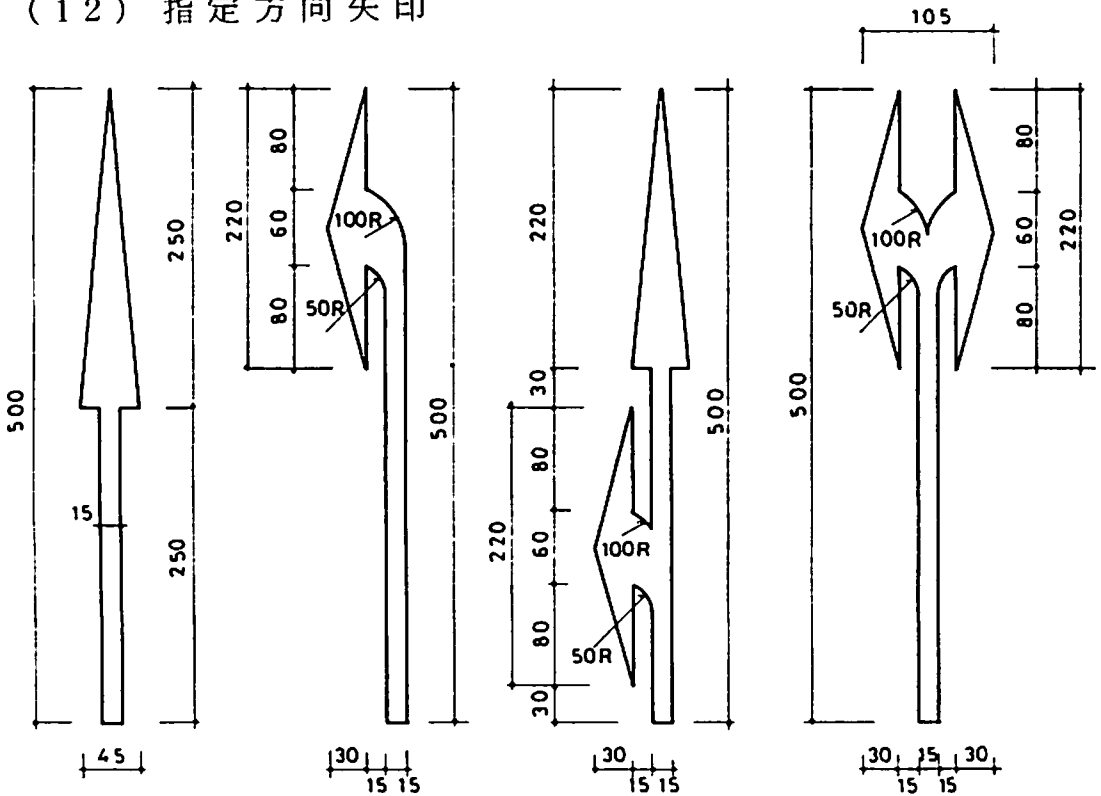
S = 15.150,00  
L<sub>15</sub> = 10,10  
PL = 11,10

(11) 横断予告標示



S = 24.765.82  
 L15 = 16.51  
 PL = 18.10

(12) 指定方向矢印



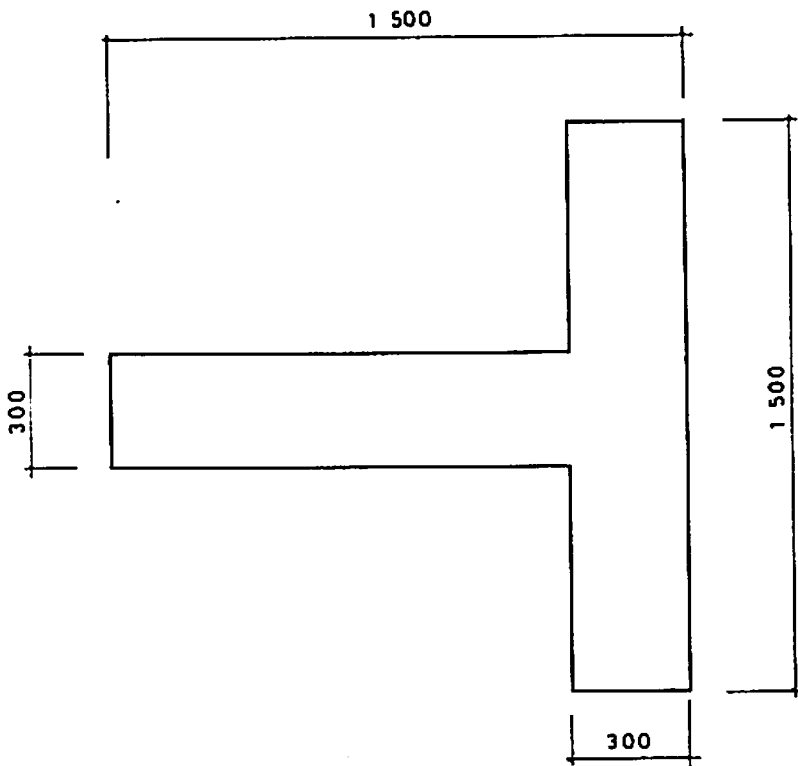
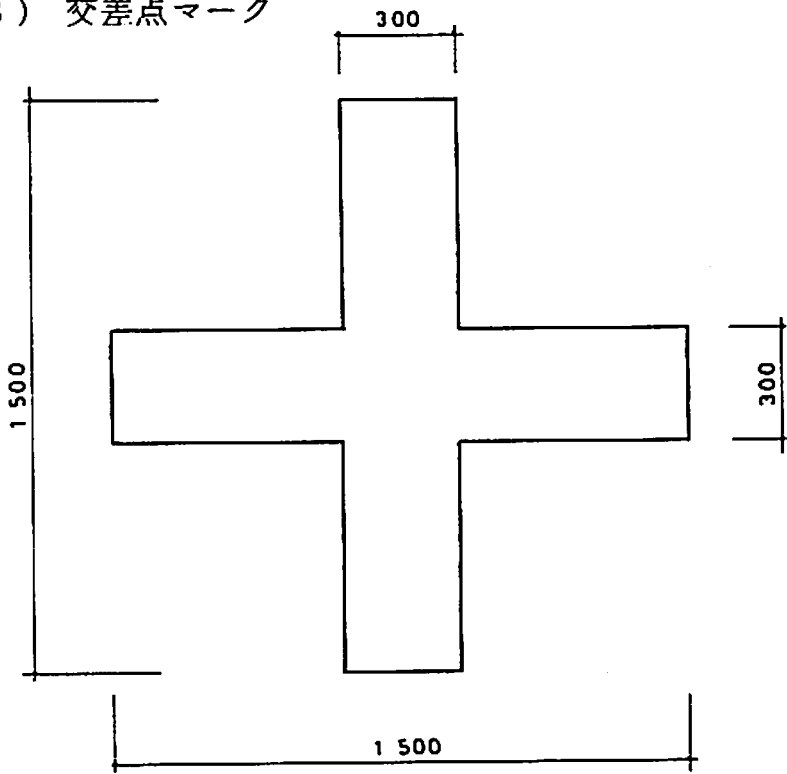
S = 9.375.00  
 L15 = 6.25  
 PL = 6.80

S = 9.993.60  
 L15 = 6.66  
 PL = 7.30

S = 13.727.20  
 L15 = 8.91  
 PL = 9.80

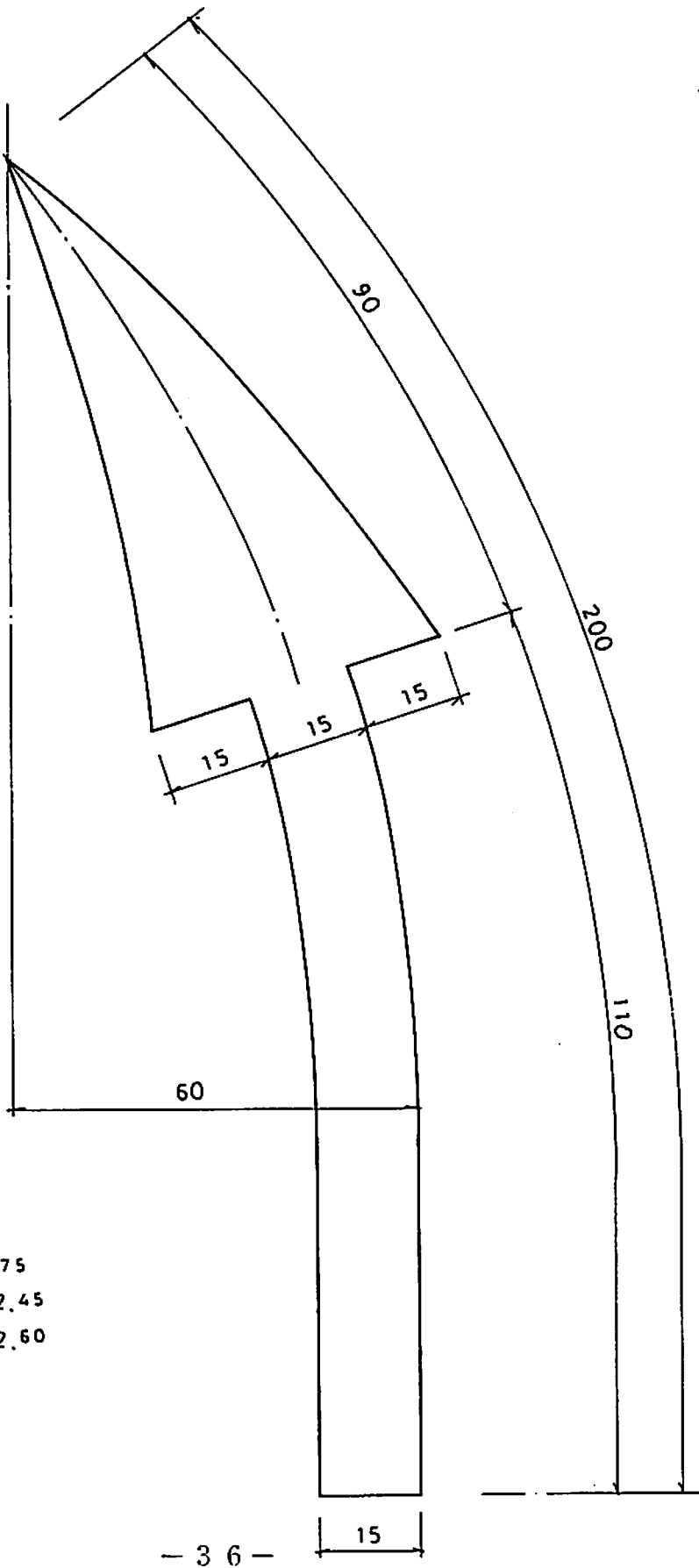
S = 14.485.90  
 L15 = 9.65  
 PL = 10.60

(13) 交差点マーク



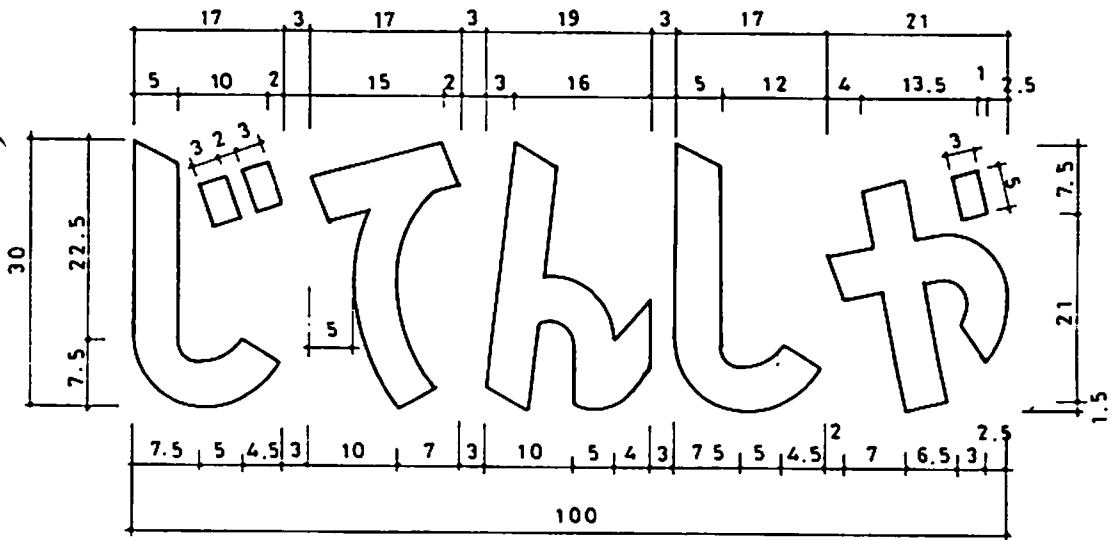
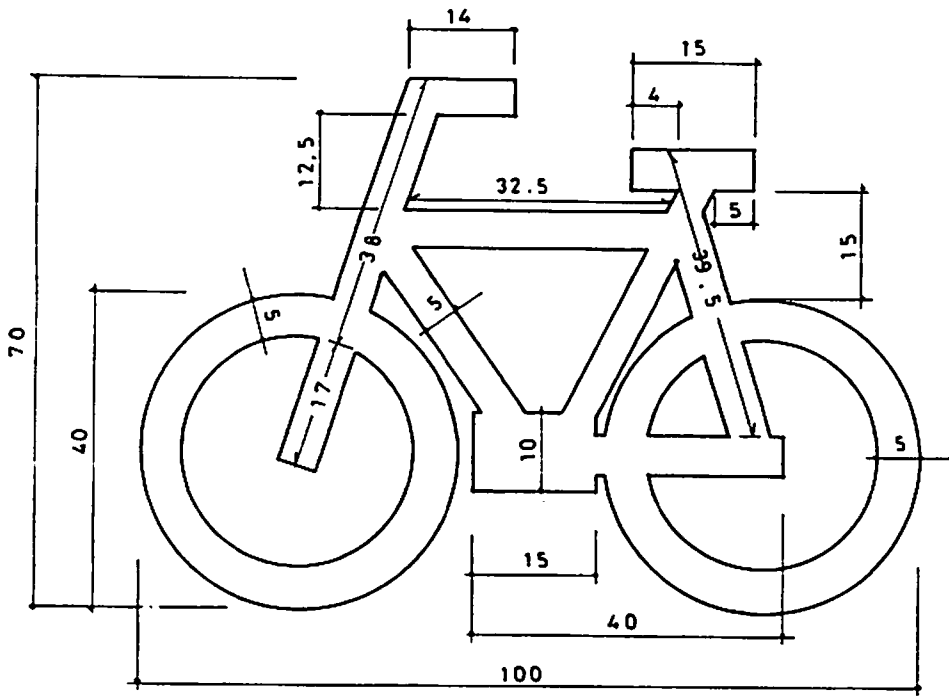
(14)

自転車進入矢印



S = 3.675  
L15 = 2.45  
PL = 2.60

(15) 自転車シンボルマーク

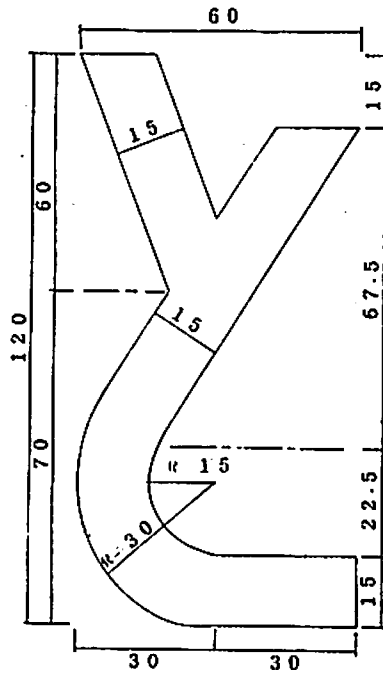


$$S = 3.418.34$$

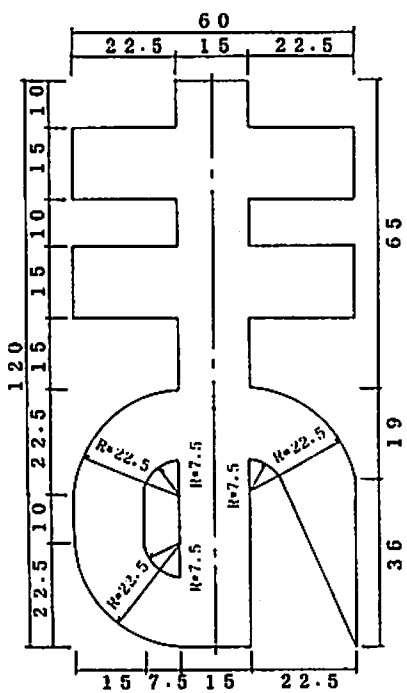
$$L15 = 2.27$$

$$PL = 2.40$$

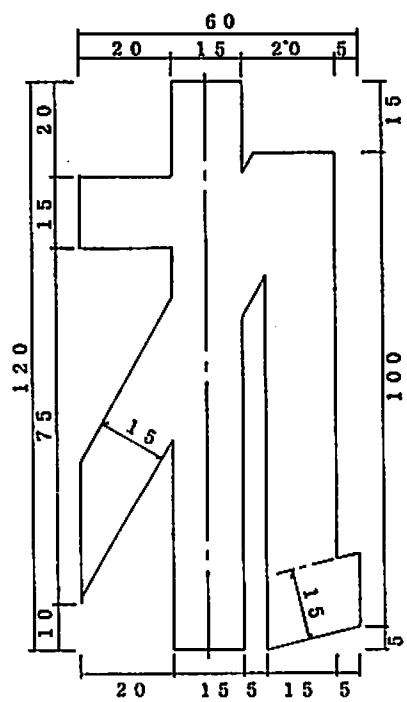




S 2.970.39  
 L15 1.98  
 W L 2.30



S 3.727.00  
 L15 2.48  
 W L 2.90



S 4.472.66  
 L15 2.98  
 W L 3.50

昭和57年11月30日現在

5. KP会 会 員 名 簿

会 社 名	〒	住 所	TEL	担 当 者
㈱ アルファ企業	167	杉並区下井草 3-36-1	03(394)6161	高橋・岡村
関東ライナー ㈱	210	川崎市川崎区 田町 3-9-6	044(288)4508	石川
㈱ 建 商	104	中央区八丁堀 3-7-1	03(552)9511	神田
大道産業 ㈱	211	川崎市中原区 下新城 1-3-11	044(788)2822	牧岡
東 阪 神 ㈱	113	文京区本郷 6-23-1	03(811)8185	村上
道路開発 ㈱	130	墨田区横川 4-8-5	03(625)0101	鳴瀬
永盛産業 ㈱	115	北区赤羽南 2-12-5	03(902)5105	金子
日 栄 興 業 ㈱	140	品川区東大井 4-5-4	03(472)2517	玉井
日東ライナー ㈱	110	台東区東上野 2-9-4	03(834)3230	三輪
日本道路興業 ㈱	174	板橋区前野町 6-44-1	03(965)3171	大島
㈱ 日本 パーカーライジング 広島工場	151	渋谷区代々木 2-20-12	03(374)4136	渡辺・坂本
日本ライナー ㈱	101	千代田区神田錦町 2-11	03(233)0421	杉本
日本ロードマーク ㈱	157	世田谷区喜多見 7-35-15	03(417)5658	能城・松永
野原産業 ㈱	160	新宿区四谷 1 - 4	03(351)9346	二木・田中
丸先工業 ㈱	152	目黒区東ヶ丘 1-2-5	03(424)0116	先崎
宮川興業 ㈱	150	渋谷区渋谷 1-20-28	03(407)1002	光吉・西村
㈱ ユタカ産業	161	新宿区下落合 2-4-10	03(953)9337	石井・若菜
ライン企画工業 ㈱	160	新宿区西新宿 6-12-7	03(348)7971	桑原・丸山
ロードセンター ㈱	213	川崎市高津区 上作延 5 1 1	044(866)6471	棚橋



MEMO